



互換性

この章では、Firepower バージョン 6.3.0.xパッチの互換性に関する情報を提供します。

- [Firepower Management Center](#)について, on page 1
- [Firepower デバイス](#) (2 ページ)
- [マネージャとデバイスの互換性](#), on page 5
- [Web ブラウザの互換性](#), on page 5
- [画面解像度の要件](#), on page 7
- [その他の互換性関連のリソース](#), on page 7

Firepower Management Centerについて

バージョン 6.3.0.x Firepower Management Center ソフトウェアは、物理および仮想プラットフォームでサポートされています。FMC は、混在展開を含めて、FTD または NGIPS を実行する複数のデバイスを管理できます。

Firepower Management Center 物理プラットフォーム

バージョン 6.3.0.x は、以下をサポートします。

- FMC 1600、2600、4600
- FMC 1000、2500、4500
- FMC 2000、4000
- FMC 750、1500、3500

BIOS および RAID コントローラのファームウェアを最新の状態に保つことをお勧めします。詳細については、『[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)』を参照してください。

Firepower Management Center Virtual (FMCv) プラットフォーム :

バージョン 6.3.0.x は、以下をサポートします。

- VMware vSphere/VMware ESXi 6.0 または 6.5 上の FMCv

- カーネルベース仮想マシン (KVM) 上の FMCv
- Amazon Web Services (AWS) 上の FMCv

サポートされている FMCv インスタンスについては、『[Cisco Firepower Management Center Virtual 入門ガイド](#)』を参照してください。

Firepower デバイス

バージョン 6.3.0.x Firepower デバイス ソフトウェアは、さまざまな物理および仮想プラットフォームでサポートされています。

- **ソフトウェア**：一部の Firepower デバイスは Firepower Threat Defense (FTD) ソフトウェアを実行します。また、一部の Firepower デバイスは NGIPS/ASA FirePOWER ソフトウェアを実行します。一部ではどちらを実行することもできますが、両方を同時に実行することはできません。
- **リモート管理**：すべての Firepower デバイスは、複数のデバイスを管理できる Firepower Management Center (FMC) を使用したリモート管理をサポートします。
- **ローカル管理**：一部の Firepower デバイスは、ローカルの単一デバイス管理をサポートしています。Firepower Device Manager (FDM) で FTD を管理するか、ASDM で ASA FirePOWER を管理できます。一度に 1 つのデバイスに関して使用できる管理方法は 1 つだけです。
- **OS/ハイパーバイザ**：一部の Firepower 実装では、オペレーティングシステムとソフトウェアがバンドルされます。その他の実装では、自分でオペレーティングシステムをアップグレードする必要があります。バンドルされたオペレーティングシステムのバージョンとビルドについては、『[Cisco Firepower Compatibility Guide](#)』の「Bundled Components」の情報を参照してください。

サポートされている Firepower のデバイス

次の表は、バージョン 6.3.0.x を実行している Firepower デバイスの互換性情報を示しています。ここでも、すべてのデバイスがリモート FMC 管理をサポートしていることに注意してください。

表 1:バージョン 6.3.0.x の Firepower デバイス

デバイスのプラットフォーム	ソフトウェア	ローカル管理	OS/ハイパーバイザ
Firepower 2110、2120、2130、2140	FTD	FDM	—

デバイスのプラットフォーム	ソフトウェア	ローカル管理	OS/ハイパーバイザ
Firepower 4110、4120、4140、4150 Firepower 9300 SM-24、SM-36、SM-44 モジュールを搭載	FTD	—	FXOS 2.4.1.214 以降のビルド。 個別のアップグレード。最初に FXOS をアップグレードします。 問題を解決するには、FXOS を最新のビルドにアップグレードする必要がある場合があります。判断のヒントについては、『 Cisco Firepower 4100/9300 FXOS Release Notes, 2.4(1) 』を参照してください。
ISA 3000 ASA 5508-X、5516-X ASA 5515-X、5525-X、5545-X、5555-X	FTD ASA FirePOWER (NGIPS)	FDM ASDM	— 次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • ASA 9.5(2)、9.5(3) • ASA 9.6(x) ~ 9.14(x) 例外： <ul style="list-style-type: none"> • ASA 5515-X デバイスは ASA 9.13(x)+ をサポートしていません。 個別のアップグレード。操作の順序については、『 Cisco ASA Upgrade Guide 』を参照してください。 ASA と ASA FirePOWER のバージョンには幅広い互換性があります。ただし、厳密には ASA のアップグレードが必要でない場合でも、問題解決のために、サポートされた最新のバージョンへのアップグレードが必要になることがあります。 ASA 5508-x、および 5516-x を最新の ROMMON イメージにアップグレードすることをお勧めします。手順については、『 Cisco ASA and Firepower Threat Defense Reimage Guide 』を参照してください。

デバイスのプラットフォーム	ソフトウェア	ローカル管理	OS/ハイパーバイザ
ASA 5585-X-SSP-10、-20、-40、-60	ASA FirePOWER (NGIPS)	ASDM	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • ASA 9.5(2)、9.5(3) • ASA 9.6(x) ~ 9.12(x) <p>個別のアップグレード。操作の順序については、『Cisco ASA Upgrade Guide』を参照してください。</p> <p>ASA と ASA FirePOWER のバージョンには幅広い互換性があります。ただし、厳密にはASAのアップグレードが必要でない場合でも、問題解決のために、サポートされた最新のバージョンへのアップグレードが必要になることがあります。</p>
FTDv	FTD	FDM (VMware および KVM のみ)	次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • VMware vSphere/VMware ESXi 6.0 または 6.5 • KVM • AWS • Microsoft Azure <p>サポートされているインスタンスについては、該当する FTDv の スタートアップガイド を参照してください。</p>
NGIPSv	NGIPS	—	VMware vSphere/VMware ESXi 6.0 または 6.5 <p>サポートされているインスタンスについては、『Cisco Firepower NGIPSv (VMware 向け) クイックスタート』を参照してください。</p>
Firepower 7010、7020、7030、7050 Firepower 7110、7115、7120、7125 Firepower 8120、8130、8140 Firepower 8250、8260、8270、8290 Firepower 8350、8360、8370、8390 AMP 7150、8050、8150 AMP 8350、8360、8370、8390	NGIPS	選択した管理機能のためのローカル GUI が制限されています。	—

マネージャとデバイスの互換性

FMC では、管理対象のデバイスと同じメジャーバージョンを実行している必要があります。パッチ未適用の FMC を使用してパッチを適用したデバイスを管理することもできますが、新しい機能と解決済みの問題では、多くの場合 FMC とその管理対象デバイスの「両方」で最新のパッチが必要になります。環境全体をパッチすることを強くお勧めします。

Table 2: バージョン 6.3.0.x のマネージャとデバイスの互換性

Firepower Management Center		
バージョン 6.3.0.x FMC	管理可能	バージョン 6.1 ~ 6.3.0.x のデバイス。
バージョン 6.3.0.x のデバイス	必須	バージョン 6.3.0 FMC。
Firepower Device Manager		
バージョン 6.3.0.x FDM	管理可能	FTD デバイス 1 台。
ASDM		
バージョン 7.10.1 の ASDM	管理可能	バージョン 6.3.0.x 以前の ASA FirePOWER モジュール。
バージョン 6.3.0.x ASA FirePOWER モジュール	<i>require</i>	バージョン 7.10.1 の ASDM。

Web ブラウザの互換性

Firepower Web インターフェイスでテストされたブラウザ

Firepower Web インターフェイスは、現在サポートされている MacOS および Microsoft Windows で動作する、次の一般的なブラウザの最新バージョンでテストされています。

- Google Chrome
- Mozilla Firefox
- Microsoft Internet Explorer 11 (Windows のみ)

他のブラウザで問題が発生した場合、またはサポートが終了したオペレーティングシステムを実行している場合は、交換またはアップグレードしてください。問題が解消されない場合は、Cisco TAC にお問い合わせください。



Note Apple Safari または Microsoft Edge を使用した広範なテストを実施していません。また、FMC ウォークスルーを使用した Microsoft Internet Explorer の広範なテストも実施していません。ただし、Cisco TAC で発生した問題に関するフィードバックを求めています。

ブラウザの設定と拡張

ブラウザに関係なく、JavaScript、Cookie、および TLS v1.2 が有効なままになっていることを確認する必要があります。

Microsoft Internet Explorer 11 を使用している場合：

- [保存しているページの新しいバージョンがあるかどうかの確認 (Check for newer versions of stored pages)] 閲覧履歴オプションについては、[自動 (Automatically)] を選択してください。
- [サーバーにファイルをアップロードするときにローカルディレクトリのパスを含める (Include local directory path when uploading files to server)] カスタムセキュリティ設定を無効にします。
- Firepower Web インターフェイスの IP アドレス/URL の **互換表示** を有効にします。

一部のブラウザ拡張機能では、PKI オブジェクトの証明書やキーなどのフィールドに値を保存できないことに注意してください。これらの拡張機能には Grammarly や Whatfix Editor などがありますが、それに限りません。この問題は、これらの拡張機能によってフィールドに文字 (HTML など) が挿入され、システムが無効と見なすために発生します。Firepower アプライアンスにログインしている間は、これらの拡張機能を無効にすることをお勧めします。

セキュア通信

Firepower Web インターフェイスに初めてログインすると、システムは自己署名デジタル証明書を使用して Web 通信を保護します。ブラウザに信頼されていない機関に関する警告が表示されますが、信頼ストアに証明書を追加することもできます。これにより Firepower Web インターフェイスを継続できるようになりますが、自己署名証明書を、世界的に知られている、または内部で信頼されている認証局 (CA) によって署名された証明書に置き換えることをお勧めします。

自己署名証明書の置き換えを開始する手順は、次のとおりです。

- FMC または 7000/8000 シリーズ：[システム (System)] > [設定 (Configuration)] を選択し、[HTTPS 証明書 (HTTPS Certificates)] をクリックします。
- FDM：[デバイス (Device)]、[システム設定 (System Settings)] > [管理アクセス (Management Access)] リンク、[管理 Web サーバ (Management Web Server)] タブの順にクリックします。

手順について詳しくは、オンラインヘルプまたはご使用の Firepower 製品の設定ガイドを参照してください。

**Note**

自己署名証明書を置き換えない場合は、次の手順を実行します。

- Google Chrome は、画像、CSS、JavaScript などの静的コンテンツをキャッシュしません。これにより、特に低帯域幅環境では、ページの読み込み時間が長くなります。
- Mozilla Firefox は、ブラウザの更新時に自己署名証明書の信頼しなくなる場合があります。この場合は Firefox を更新できますが、一部の設定が失われることに注意してください。Mozilla の [Firefox 更新サポートページ](#) を参照してください。

Firepower で監視されるネットワークからのブラウジング

多くのブラウザでは、デフォルトで Transport Layer Security (TLS) v1.3 が使用されています。暗号化されたトラフィックを処理するために SSL ポリシーを使用していて、モニタ対象ネットワーク内のユーザが TLS v1.3 を有効にしてブラウザを使用している場合、TLS v1.3 をサポートする Web サイトのロードに失敗することがあります。

詳細については、『[Failures loading websites using TLS 1.3 with SSL inspection enabled](#)』というタイトルのソフトウェア アドバイザリを参照してください。

画面解像度の要件

Table 3: Firepower ユーザ インターフェイスの画面解像度の要件

インターフェイス	解像度
Firepower Management Center	1280 X 720
7000/8000 シリーズ デバイス (制限されたローカル インターフェイス)	1280 X 720
Firepower Device Manager	1024 X 768
を管理している ASDM ASA FirePOWER モジュール	1024 X 768
Firepower Chassis Manager 向け Firepower 4100/9300 シャーシ	1024 X 768

その他の互換性関連のリソース

次の表に、リリースノートとその他の互換性情報へのリンクを示します。ドキュメントの完全なロードマップについては、[ドキュメントロードマップ](#)を参照してください。

Table 4: その他の互換性関連のリソース

説明	リソース
互換性ガイドには、バンドルコンポーネントや統合製品をなど、サポートされているハードウェアモデルとソフトウェアバージョンに関する詳細な互換性情報が記載されています。	Cisco Firepower Compatibility Guide Cisco ASA の互換性 Cisco Firepower 4100/9300 FXOS の互換性
リリースノートには、アップグレードの警告や動作の変更など、リリース固有の情報が記載されています。	Cisco Firepower リリースノート Cisco ASA リリースノート Cisco Firepower 4100/9300 FXOS リリースノート
持続性に関する速報には、管理プラットフォームやオペレーティングシステムなど、シスコ次世代ファイアウォール製品ラインに関するサポートタイムラインが記載されています。	Cisco NGFW 製品ラインのソフトウェアリリースおよび持続性に関する速報